

21世紀へのまちづくり始動!!

“対話と協調” 植木町長就任

就任あいさつ

この度の町長選挙に、町民の皆様を心とした住民主体の町政に流れを変えたいと念願し、不肖をも顧みず立候補いたしましたところ、五月二十二日の

告示日に無投票当選が確定し、六月十八日町長の要職に就任いたしました。

昨今の厳しい社会情勢の中にあつて、その責務の重大さを思う時身の引き締まる思いで一杯です。もとより浅学非才ながら、粉骨砕身頑張る決意であります。

今回、前木村町長は盟友の私と相争うは、町内に大きな亀裂を生じ町の発展を阻害し、将来に禍根を残すと考えられ



6月18日 新町長初登庁

勇退を決意されました。その高邁な愛町精神と友情に衷心より敬意と感謝を申し上げると共に、激動の時代に三期十二年間町長として大変な御尽力を賜り数々の立派な御功績を残されましたことに対し町民の皆様と共に深甚な

れをしつかりと胸に刻み、政治信条として貫く所存であります。

又、町政の執行に当っては、町民の皆様自らが何事も主体性をもって自発的に取り組む。こうした町風醸成をめざし、行政として最善の御支援をさせて頂くことを基調として取組み、皆様のご意見や願いが反映できるよう全力を尽くす考えであります。その為には、議会、関係機関は勿論、町民の皆様と充分話し合い、相談し、「対話」に力点を置いて進めたいと考えております。今、本町は数多くの問題を抱えております。停滞する農林漁業、商工業の活性化、福祉、教育文化、環境保健等の施設整備や条件づくり等山積いたしておりますが、当面する課題については、基本的には、前町長の政策を踏襲しながらも、財源との見合いの中で肉付け、修正をはかり、より良きものに仕上げたいと念願いたしております。中でも浅田小学校、三隅山荘の改修築、集落排水事業の全町普及は、早期実現をはかる考えであります。

私に謝意を表したいと存じます。私は常々、政治を行う者は、清潔、誠実、公正を旨としなければと考えておりました。町長になりました今、私はこ

進めたいと考えますが、特に社会の高齢化に対応して、既存の明和苑、清風園と福祉専門学校開設と相まって、泉源の開発を行い、湯免地域を中心とした「老人の里」づくりを推進し、三隅を福祉の町にしたいという夢を持っております。

実に厳しい時ではありますが皆様と共に考え、お知恵を拝借しながら、若者が定住する豊かな町づくりに邁進する覚悟でございますので、温かいご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます、就任のあいさついたします。



就任式